

第 1 8 在宅医療等推進事業

1 地域連携クリティカルパス推進事業

医療機関から在宅に安心して戻れる切れ目のない医療を提供するために、医療機関の機能分担と連携を図るツールとして地域連携パスについて運用を進めています。

当圏域では、平成25年度から脳卒中県内統一パス様式で運用を開始し、急性期回復期連携会議にて運用状況や課題の共有を図っています。

(1) 急性期病院と回復期リハビリ病棟病院定例会（主催：計画病院）

開催日：令和2年7月3日（金）午後3時～午後4時

令和2年11月17日（火）午後2時～午後3時

令和3年3月23日（火）午後4時～午後5時（ZOOM）

内 容：脳卒中地域連携パス（患者用）等の用紙・運用について課題や意見交換パスの周知について

参加者：高島市民病院・今津病院・マキノ病院関係者、高島市医師会、高島市地域包括支援課、高島保健所担当者

(2) 医師会へ脳卒中地域連携パスの経過および現状について打ち合わせを実施し、高島市民病院と今津病院へ現状について情報収集を実施。

2 在宅ホスピスケア推進事業

高島地域医療福祉ビジョン（平成24年2月策定）に基づき、医療福祉を推進する高島地域協議会設置し事業を実施。平成27年度から高島市において「高島市在宅ケア推進会議」を核とした体制が確立されたことにより、高島市や高島市医師会が主体で行う在宅医療介護連携従事者研修会への参画、共同実施により在宅医療、看取り体制の構築に努めました。

在宅医療多職種連携セミナー

（高島市医師会、高島市主催

高島市医療連携ネットワーク運営協議会共催）

アドバンス・ケア・プランニング等の研修会を実施予定であったが新型コロナウイルス感染症のため中止。

3 入退院支援ルール評価検討事業

病院での治療から在宅療養へのスムーズな連携を図ることにより、機能維持向上と患者や家族が安心できる療養環境を早期に整備できる体制を構築する必要があることから、入退院支援を行う際の共通ルール「湖西圏域における病院とケアマネジャーの入退院支援の手引き」（平成28年3月を作成）を活用し、病院と在宅関係者との円滑な連携の推進に努めました。

事業内容

(1) 実態調査

介護支援専門員への病院との連携に関する調査は、新型コロナウイルス感染症による保健所業務ひっ迫のため中止。

(2) 会議

入退院支援ルール評価検討会議

目的: 病院と在宅における連携の現状評価と入退院支援を行う際の共通ルール等の検討を行い、病院と在宅の円滑な連携を推進する

開催日: 令和3年3月18日(木) 午後14時～15時10分

場所: 高島保健所 2階 大会議室

内容: ・湖西圏域における病院とケアマネジャーの入退院支援の手引きの改正について

・令和2年度実施結果と来年度の方向性について

・情報交換: コロナ禍での連携状況での課題や工夫点について

出席者: 管内病院看護部長・病棟師長・地域連携室関係者、湖西介護支援専門員連絡協議会長・副会長、高島市医師会在宅支援センターコーディネーター、高島市地域包括支援センター職員等

(3) 研修会

入退院支援にかかる病院・介護支援専門員合同研修会(応用編)

開催日時・会場:

高島会場: 令和2年9月11日(金)17時～18時 高島市民病院

今津会場: 令和2年9月16日(水)17時～18時 今津病院

内容:

①事例紹介

高島会場

テーマ: 退院後の地域での生活状況から退院支援をふりかえってみよう

高島市民病院 地域医療支援部 入退院支援室 中村 真弓 氏

社会福祉法人高島市社会福祉協議会 きらり今津北 伊原 恵理子氏

今津会場

ねらい: 圧迫骨折で入退院を繰り返される方の振り返りから課題を探ろう

医療法人かおり会 ケアプランさくら 武長 幸子 氏

今津病院地域連携室 竹下 順子 氏

②意見交換

③情報提供 「新型コロナウイルス感染症対策下での退院支援 ～回復期リハビリテーション病棟におけるリモートカンファレンスについて～」

今津病院地域連携室 竹本 正樹 氏

参加者: 高島会場 29人、今津会場 22人

病院看護師、訪問看護師、介護支援専門員、病院職員、行政関係者等